

講義では「産業技術論」「科学技術と社会」「資源エネルギー論」など「かたくるしい」理系分野の人間ですが、問題（環境問題、科学・技術の問題）を生活（文化）面から眺めてみることを主眼として、ここ数年活動しています。

1. 専門演習の目標

本ゼミでは、我々の生活をどう組み替えたら、もっと「住みゴゴチ」のよい社会・環境になるのか、それを単なる努力やガマンだけではなく、「大いなる知恵」で成し遂げてみたいと考えています。

2. 専門演習で扱う課題と内容

地球環境問題の改善、特に温暖化ガスの低減は、並大抵の行動提起では実現できない次元と考えられます。省エネとか、技術革新も必要ですが、それだけでは不十分です。もっと生活様式（スタイル）を根本的にみなおす必要があるのだらうと考えます。

地球環境問題は、すでにいろいろな書物、メディアで説明、問題提起されていますが、それらを「なぞって」みたり、「要約して」も、問題解決の道は見えてこないと思います。大事なことは、1) 問題の構造的核をつくこと、2) 現場ごとの解決案を提起できること、この二つでしょう。2) が付け焼刃な形にならないためにも、問題の本質をつかむことが大事です。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期は研究を進めるための下地作り。

- ① 地球環境問題の基礎論点をさらい、オルタナティブの政策をイメージする
- ② 問題発見の能力を高める基礎体力づくり

3回生後半はテーマ探し。

- ① 自分なりの「温暖化ガス低減政策」を編み出す（討議）

4回生は

- ① 問題を構造化し、論文をしあげていく

全体的にテーマは個人個人で進めます。

4. 必要とする知識

特段知識は必要ではありません。むしろ知っていると思っていることを再構成できること。

5. 関連する分野・科目・知識

環境論、現代環境論、資源エネルギー論などは受講しておくといよい。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

テキストは、必要に応じて指示します。

7. 独自に付加する選考方法

なし

8. 受講生に望むこと

常識にとらわれないこと。愛するモノ・コトに囲まれていること。

新しい世界に向けた眼差しがあること。

そうした学生と学んでいきたいです。